

2014年9月1日

各 位

オリックス株式会社
株式会社九電工

全国初、空港跡地のメガソーラー発電所が稼働 ～枕崎空港跡地に最大出力 8.2MW～

オリックス株式会社（本社：東京都港区、社長：井上 亮）と株式会社九電工（本社：福岡県福岡市、社長：西村 松次）は、本日、枕崎空港（鹿児島県枕崎市）の跡地で建設を進めていた最大出力 8,218 kW（8.2MW）のメガソーラー発電所「枕崎市枕崎空港跡地第一発電所・第二発電所」の運転を開始しましたのでお知らせします。なお、空港跡地を活用したメガソーラー発電事業は、本件が全国初の取り組みとなります。

枕崎空港は、1991年1月に開港した日本初のコミューター空港です。枕崎市は、空港の管理・運営におけるこれまでの歳出超過累積額や、今後の財政および市民への負担を考慮し、2013年3月末で空港を廃止し、オリックスと九電工はその跡地を活用してメガソーラー発電所の開発を進めてきました。

また、地域貢献として枕崎市や第三セクターへの寄付により、空港ターミナルビルを活用した発電所の見学・学習スペースや天文観測所を設置しています。



「枕崎市枕崎空港跡地第一発電所・第二発電所」

オリックスと九電工は、今後も、再生可能エネルギーをはじめとしたエネルギー関連事業を積極的に展開するとともに、お客さまへ新しい付加価値の提供を目指してまいります。

■「枕崎市枕崎空港跡地第一発電所・第二発電所」概要

所在地	鹿児島県枕崎市あけぼの町 275 番地
出力規模(モジュール容量)	8,218kW
設置面積	約 129,000 m ²
パネル設置枚数	33,544 枚
年間予想発電量 (初年度販売ベース)	9,185,900kWh (予定) 一般家庭約 2,550 世帯分の年間消費電力に相当(*)
事業主	K クリーンエナジー株式会社 (オリックス株式会社 70%、株式会社九電工 30%)
施工会社	株式会社九電工
運転開始日	2014 年 9 月 1 日

(*)1 世帯当たり 3,600kWh/年で算出。出典：電気事業連合会「電力事情について」

■主な地域貢献策の概要

1. 太陽光発電所の見学・学習スペースの設置
空港ターミナルビルの一部を改修し、太陽光発電所の仕組みが分かる展示物や環境学習などの研修スペースを設置
2. 天文観測所の設置
空港敷地内に天文観測所を設置し、地域住民が集う場所を提供
3. 空港管理会社の活用
太陽光発電所の管理業務の一部を、空港廃止後も存続する南薩エアポート株式会社（第三セクター／空港管理会社）へ委託



シュミットカセグレン式天体望遠鏡

以 上

＜本件に関するお問い合わせ先＞

オリックス株式会社 グループ広報部 堀井・柴田 TEL：03-3435-3167
株式会社九電工 総務部広報グループ 渡辺・矢野 TEL：092-523-1691